マカ発電所あるいは軽水炉技術がもともと持っていたリスクが、 、リガーとして顕在化したものであり、,,,,,, 2011年10月26日 (参考資料①) 「意見メモ」 (参考資料①)

とに注意を喚起したい。

1F = 福島第一原発

カのほろは、意義となる人により、「一般をはなり」

(放射性廃棄物処分場の選定が遅れているのは)

典型的なNIMBY問題 であります。

2011年11月9日 第3回議事録(参考資料②)

> Not In My Back Yard (自分の裏庭に来ないで) 施設の必要性は認めるが、 自分の居住地域内に できることは反対、 という態度

2013年3月14日(3月14日) 20週末版権所に向けた委員からので意見」(参考が約1) このレベル程度を維持することは可能

実は高レベル放射性廃棄物の量とか、廃棄物の毒性は 高速増殖炉を使う事によって、

というところがあります。

2011年11月9日 第3回議事録(参考資料②)

2012年9月18日

「政府方針への重大かつ深刻な懸念について」(参考資料①)

原子力ゼロの道は、 経済の崩壊・空洞化につながり、 本の国際的責務を果たす能力を減殺するものであるため、 一定規模の原子力を維持するよう、 再考を求めたい。

田中知原子力規制委員会新委員

が資源エネルギー庁 総合資源エネルギー調査会 基本問題委員会の委員であった時代に作成した資料あるいは委員会での発言

全て福島第一原発事故後

(1)は2011年10月の委員会2回目会合に提出したメモ

「再発防止に万全の対策をとることによって」「事故を現実的になくせる」そうです。

- ②は**2011年11月**の「原子力のリスク、意義とベストミックス」というプレゼン **原子力維持**を明言
- 3(4)は同プレゼンの説明中の発言

放射性廃棄物処理にはかなり楽観的な考えを持っておられます。

- (5)は**2012年3月**エネルギーミックス選択肢提示前の意見なぜ原子力の維持が必要なのか?ということで以下の点を上げています
 - 一エネルギーセキュリティ確保
 - 一比較的低い発電コストによる産業活性
 - 一地球温暖化対策
 - 一原子力インフラ維持
 - 一技術力維持
 - 一人材育成
 - 一世界での原子力拡大、運転に対する貢献
 - 一世界での核不拡散、核セキュリティー向上への貢献

この後「国民的議論」がおこなわれ、2030年代に原発ゼロという結果が出ます。その結果に対して

6 は**2012年9月**に連名で出した意見

とにもかくにも原子力維持

私の感想

原子力規制委員会が出来るとき、衆議院で以下の決議が出ています。

2012年6月15日衆議院環境委員会での決議(参考資料③)「原子力規制委員会設置等に関する件」(参考資料④)の第1項

原子力規制行政に当たっては、

推進側の論理に影響されることなく、

国民の安全の確保を第一として行うこと。

田中知氏は推進側の論理そのものを事故後も主張し続けています。そんな自分の論理に影響されないなんてあり得ません。

そして原子力規制委員会の目的

原子力規制委員会設置法 第1条(一部)

一の行政組織が原子力利用の推進及び規制の両方の機能を担うことにより生ずる問題を解消する

は、早くも骨抜きにされつつあります。

国会で承認されたということは、国会の監視機能も期待できません。

国会にしっかりしてもらうには議員が無視できない世論を作るしかないと思います。

がっ、さてどうするか?

①資源エネルギー庁 総合資源エネルギー調査会基本問題委員会 田中委員提出資料 http://www.enecho.meti.go.jp/committee/council/basic_problem_committee/tanaka/ ②資源エネルギー庁 総合資源エネルギー調査会基本問題委員会 議事録 http://www.enecho.meti.go.jp/committee/council/basic_problem_committee/

http://www.enecho.meti.go.jp/committee/council/basic_problem_committee/3第180回国会 衆議院環境委員会議事録
http://kokkai.ndl.go.jp/SENTAKU/syugiin/180/0017/18006150017006c.html